



平成 21 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 スパークス・グループ株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 阿 部 修 平
(JASDAQ コード番号 : 8739)
問い合わせ先 取 締 役 藤 井 幹 雄
電 話 番 号 0 3 - 5 4 3 7 - 9 7 0 0

格付けおよび格付けの方向性変更に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 3 月 31 日、格付け会社の株式会社格付投資情報センターより、発行体格付けが、「A-」（格付けの方向性：ネガティブ）から「BBB+」（格付けの方向性：安定的）に変更された旨の通知を受けましたので、お知らせいたします。

格付けの定義などにつきましては、格付投資情報センターのホームページ等をご参照下さい。

以上

(参考)

「格付投資情報センター」による格付けの変更理由

新興市場を中心とした株式相場の低迷の影響を強く受け、平成 21 年 2 月末の運用資産残高(AUM)は前年比で 50%以上減少している。時価や為替の変動が主因で資産の流出自体は多くないため顧客基盤は引き続き底堅いとみているが、平成 21 年 3 月期第 3 四半期累積では経常的な経費が残高報酬を上回る等、収支構造は A ゾーンの基準を満たさなくなっている。また、オルタナティブ運用の市場規模が大きく縮小してきている中で、日本株運用の再建に要する時間が長期化する懸念が高まっている。

環境は厳しいものの、過去の買収で発生した暖簾が毀損するリスクを考慮しても、比較的良好な資本構成は維持できよう。来期以降、第 1 次経営改革により 21 億円の経常的な経費の削減が見込まれる。さらに、「日本株ロングオンリー」・「日本株ロングショート」に事業を集中することを柱とする追加的な経営改革により、さらなる経費削減の検討に着手している。資産運用事業の特性として、AUM が減少してもコスト管理の徹底などで一定の収支構造を維持することは可能とみており、今後の具体的な対応策に注目している。信用力を回復していくうえでは、収支構造を安定させることに加え、オルタナティブ運用の市場規模回復や日本株運用の再建を牽引とした AUM の大幅な拡大が欠かせない。

株式会社格付投資情報センター ホームページアドレス :

<http://www.r-i.co.jp/jpn/>